

科目名	社会的養護 2（保育士必修）			
授業形態	演習	学年	1	
開講時期	2023 年度 前期	単位数	1	
担当教員	齋藤 久夫			
内容および計画	社会的養護下にある子どもへの援助及び具体的な支援方法と内容に関する知識を深め、保育者としての資質を高めていくことを目的とする。なお、本科目では、専門性に求められる倫理と専門性、子ども虐待、社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術などをキーワードに授業を展開していく。			
1	ガイダンス 講義の趣旨説明およびスケジュールの確認を行う。			
2	施設入所や里親委託に至るプロセスについて 受け入れ時の支援について学ぶ。			
3	社会的養護における子どもの理解 子どもと家庭を理解する視点を学ぶ。			
4	児童福祉施設の一日の流れについて 各児童福祉施設の日常生活支援について学ぶ。			
5	集団で生活することの意味と課題について 集団を活用した生活づくりについて学ぶ。			
6	社会的養護の施設における治療的支援について 子どもへの治療的ケアについて学ぶ。			
7	里親家庭やファミリーホームでの生活について 施設養護及び家庭養護の生活特性と実際について学ぶ。			
8	施設で行事を行うことの意味について 施設行事の意義について学ぶ。			
9	子どもの行動への理解と支援について 愛着形成に課題のある子どもへの支援について学ぶ。			
10	社会的養護のもとで暮らす児童の自立支援 リービングケアの計画と進め方について学ぶ。			
11	親子再統合の取り組みについて 親子関係の調整・再構築と親支援のあり方について学ぶ。			
12	措置変更の現状と課題について 児童養護施設からの措置変更の現状について学ぶ。			
13	アフターケアの計画と実際について 退所、措置解除を控えて行う支援のあり方を学ぶ。			
14	施設保育士の専門性とチームワークについて 施設職員のチームワークと働き方について学ぶ。 また、職場内研修と O J T の意義についても理解する。			
15	授業のまとめと振り返り 本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、レポート提出についての説明を行う。			
教科書				
タイトル		著者名	出版社	発行年
よりそい支える社会的養護Ⅱ 第 2 版		中山正雄監修 浦田雅夫編著	教育情報出版	9784909378330
				2021

参考書	文献については随時、授業中に紹介する。
成績評価	
評価方法	割合(%)
レポート提出	70
授業態度	30
学習到達目標	1.社会的養護の必要性を理解する。 2.社会的養護に関わる基礎知識（福祉六法等含む）を身につける。 3.授業より学んだ理論からボランティア活動など実践へと行動することができる。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：児童養護施設に43年勤務した経験をもとに児童の生の声を届けたい。
その他	社会的養護に関する今日的な課題について、普段から新聞や文献に目を向け、何らかの問題意識をもって受講すること。授業展開は予定であり、授業の進捗などにより、内容が変更されることもある。